

7 埼経協 第43号
令和7年9月3日

各 位

一般社団法人埼玉県経営合理化協会
会 長 池 上 正 信

第6期「実践BCP作成講座」(中小製造業 向け)の募集

開講日は、受講者の人数が集まり次第決定します。

(実践＝講座修了時に各社のBCPの基本が完成

+ 図上訓練を実施)

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素、弊協会の事業推進にあたりましては格別のご支援、ご協力を賜り篤くお礼申し上げます。

さて、今年の3月にミャンマーでマグニチュード7を超える巨大地震が発生しました。200年近く地震が発生していなかった地域だったとの報道もありました。同じように100年近く大規模な地震が発生していない地域を多く持つ日本ではいつどこで大規模な地震が発生してもおかしくない状態です。地震だけではないリスク発生時に事業の継続を図り、取引先へのサービスの提供が滞る事態を最小限にする経営手段がBCM(事業継続マネジメント)であり、そのための「事業継続計画」がBCPです。

すでに策定したBCPがあっても、社員の皆さんに認知されているでしょうか。一度策定したが定期的な見直しや更新ができていない、策定したBCPに基づく訓練は実施できていない、など様々な課題を伺います。

この「実践BCP作成講座」では、BCPの基本を講義により習得するだけではなく、別紙1のカリキュラムに記載した通り、講師の講義に基づき受講者が相互に意見交換そして討論を行いながら、各社毎のBCPを作成、講座修了時には別紙2に記載した内容の「BCP(事業継続計画)」が完成し、それに基づいた図上訓練も実施致します。

どんな緊急事態にも対応して企業そして従業員の命を守り、事業の継続、取引先への製品・サービスの供給責任を果たしていくため、ぜひこの「実践BCP作成講座」をご活用賜りますようご案内申し上げます。

謹言

記

- 1 実施期間 受講申し込みが5名以上集まり次第、確定いたします。
約2カ月の予定（別紙1のとおり）
- 2 募集人数 5名～12名（できれば総務と現場双方に通じた方の受講が理想、1社からの受講者は2名以内）
ただし、受講企業が6社になった場合、受講企業の全社がBCP基本を完成するマン・ツー・マン指導のため、募集を締め切ります。
BCPの文章化は各受講者の持ち帰り作業、疑問点・質問など問い合わせは、随時メールにて講師が受付、回答します。
- 3 講師 戸田眞一郎先生（防災・危機管理アドバイザー）
※ 現在、株式会社IHI全事業所のBCP作成、改善指導
- 4 受講費 1人88,000円（全5講座、消費税込み）
- 5 募集期限 特になし
- 6 その他 講座への途中参加、途中退会は原則としてできません。

※ 講座5 「図上訓練」には、受講生の所属する企業の経営トップないし役員の方のご出席をお願いします。
BCPを書類として備え付けただけでは十分でないことをご理解いただける機会と存じます。

問い合わせ 中川 TEL. 048-645-2338 メール nakagawa@saitama-gourika.jp

令和7年 月 日

一般社団法人埼玉県経営合理化協会 行
FAX. 048-645-2339
e-mail nakagawa@saitama-gourika.jp

第6期「実践BCP作成講座」 受講申込書

(開講日は別途ご案内)

標記講座の受講を下記のとおり申し込みます。

記

- 1 企業名
- 2 参加人数 名
- 3 参加者氏名、役職、メール・アドレス

(1) 氏名 役職

連絡先メール・アドレス

(2) 氏名 役職

連絡先メール・アドレス

講習会に係るご連絡等をご記入いただいたアドレスに送信させていただきます。
ご担当者のアドレスでも差し支えありません。
その場合は、講義内容等に関する疑問点・質問の回答は、ご担当者から受講者宛
にご伝達をお願いいたします。

講 師 略 歴

- 防災・危機管理アドバイザー
防災士
戸田 眞一郎
- 高知県四万十町出身 S 2 6 . 4 . 1 生まれ 柏市在住
- S 4 4 年 4 月 航空自衛隊入隊 戦闘機パイロットの道へ
- 戦闘機パイロット、飛行教官、飛行隊長、防衛省航空幕僚監部副監察官、航空事故調査委員、監理監察官、部隊指揮官等歴任
- 総飛行時間約 5 3 0 0 時間、元 1 等空佐
- H 1 9 年 4 月 航空自衛隊定年退職
- 同年 (株) I H I 入社
航空宇宙事業本部調査役 I H I 相馬技能訓練所所長
- H 2 3 . 3 . 1 1 東日本大震災を福島県相馬で経験
I H I 防災アドバイザーを兼務
- H 2 5 . 4 月 (株) I H I 航空宇宙事業本部主任調査役
- H 2 6 年 4 月 I H I 退社
- R 2 (株) I H I 防災アドバイザー (嘱託)

現在の活動 ; (株) I H I 防災アドバイザー (嘱託)、医療法人、行政機関等の B C P の作成、防災訓練の指導並びに人材育成等。

著 書 ; 「熱血タイガーのファントム物語」(イカロス出版)、
その他航空雑誌等に執筆。

第 6 期「実践 B C P 作成講座」カリキュラム

会場は、埼玉県産業文化センター（ソニックシティ）会議室

講座	開催期日	実施項目	実施要領等	ねらい	備考
1	未定	・オリエンテーション ・ B C P 基本講座 ・東日本大震災の教訓 ・ B C P の基本的考え方	講義及び個人作業	B C P の基本的事項と必要性を理解	演習用 B C P の P 1 ~ 8 の作成要領説明 → 自宅作業
2	未定	・被害予測 ・災害時における組織、体制 ・災害発生時の初動対応 ・応急救護、初期消火等	各項目ごとに検討課題、考え方を指導しながらグループ作業及び個人作業並びに発表等により理解を深める。 一部在宅作業により作業効率を図る。	サンプルを基に自社用 B C P を作成する。 各項目ごとに討論し、その結果を持ち帰り、自社用に作成して次回講習までに完成させて提出→個別指導。この繰り返しにより第 4 回終了までにそれぞれの自社 B C P として完成させることをねらいとする。 この間、メールにて質問等に対する個別指導を行う。	演習用 B C P の P 8 ~ 1 5 の作成要領説明 → 自宅作業
3	未定	・情報の収集等 ・被害復旧・事業再開 ・災害予防対策 ・防災訓練、防災教育 ・ B C P チェックリストの作成			演習用 B C P の P 1 6 ~ 2 0 の作成要領説明 → 自宅作業 別紙類の説明 → 自宅作業
4	未定	・感染症 B C P の説明 ・自社用 B C P の完成 ・図上機訓練の説明、講話等			各会社 B C P の完成と個別指導
5	未定	図上訓練			各種状況付与による図上訓練
特別講座	未定	特別講座	工場等見学	他工場等を研修することにより指導者としての見識を深める。	状況をみて別途計画する。 実施の場合は、交通費等別途負担してください。

- 1 B C P の作成を通じて討論等によりコミュニケーション能力を向上する。
- 2 討論結果の発表によりプレゼンテーション能力を向上する。
- 3 講座実施期間を通じて、管理監督者としての組織管理能力の基礎を身に付ける。
- 4 講座は 5 講座とし（約 3 時間／各回）、2 か月半で終了する。
- 5 参加者は総務 + 製造現場のペアでの管理監督者が望ましい。（いずれか一人でも可）

「BCP（事業継続計画）」の構成（目次）

はじめに

策定の趣旨、社長のBCPへの取り組み方等を述べる。

第1章 基本的考え方

- 1 被害予測：何を検討の前提とするか？
- 2 会社の重要資産
- 3 対応の基本方針
- 4 被害復旧の優先順位
- 5 現状認識

第2章 災害時における組織・体制

- 1 対策本部の設置時期、参集：いつ？ 誰が？
- 2 対策本部の設置場所：どこに？
- 3 準備すべき備品等：最低限何が必要か？
- 4 組織図及び業務分担：誰が何を担当する？
- 5 東日本大震災の教訓（提示）

第3章 災害発生時の初動対応

- 1 緊急連絡網：連絡網の作成（別紙として作成）
- 2 社内放送：誰が何を放送する？
- 3 安全確保：各人がどうやって？ 二次災害防止策？
- 4 避難場所等：どこに集まる？
- 5 避難誘導：どこに逃げる？
- 6 安否確認：誰がどうやって確認？
- 7 非常持ち出し重要書類等：保管持ち出し要領（別紙として作成）
- 8 東日本大震災の教訓（提示）

第4章 応急救護、初期消火等

- 1 応急救護：誰がどうやって？
- 2 初期消火：自衛消防隊は？ 消防訓練は？
- 3 地震発生時の心得：「地震の心得10箇条」（提示）
- 4 東日本大震災の教訓（提示）

第5章 情報の収集等

- 1 災害関連情報の収集：どうやって？
- 2 防災関連機関等：行政機関、交通機関、ライフライン等（別紙として作成）
- 3 復旧関係業者等：施設、設備機械、建屋等の業者（別紙として作成）
- 4 主要取引会社等：直接関係する取引会社、サプライチェーン等（別紙として作成）
- 5 東日本大震災の教訓（提示）

第6章 被害復旧・事業再開

- 1 「BCPチェックリスト」：時系列毎の実施事項（別紙とする）A-3版
これがBCPの核となる。各会社の業務に応じて原案サンプルから作成する。
- 2 代替生産手段の確保：他工場等での代替生産の可否、要領等
- 3 東日本大震災の教訓（提示）

第7章 災害予防対策

- 1 耐震化施策：重要資産の優先順位により何をどこまでやる？
- 2 非常用備品、食料等の備蓄：誰が何をどうやって？（別紙として作成）

第8章 防災訓練、防災教育

- 1 防災訓練：いつ誰がどの規模で何を実施？
- 2 防災教育：誰がいつどうやって？
- 3 その他

文章の構成等

- 1 本文、別紙共に提示する原案を基に自社の独自性を加えて作成。
- 2 本文と別紙に弁別して、文章は本文に、図表等は別紙。
- 3 務めて箇条書き、簡潔でわかりやすい文章、構成。
- 4 A4版でおおむね30ページ程度の構成で作成。
- 5 必要に応じ、別途配布の「BCP作成の解説書」を説明資料として添付。
- 6 感染症対処BCP（別途配布）も参考とする。

別紙として作成する項目（基準）（作成が間に合わなければ別途作成）

- 第1：「BCP取組状況チェックリスト」
- 第2：「緊急連絡網」
- 第3：「非常持ち出し重要書類等」
- 第4：「地震の心得10カ条」
- 第5：「災害関連情報の収集手順」
- 第6：「防災関連機関一覧」
- 第7：「復旧関連業者一覧」
- 第8：「主要取引先一覧」
- 第9：「BCPチェックリスト」
- 第10：「耐震化施策」
- 第11：「非常用備品、食糧」

別冊：「BCP作成の解説書」（別途配布）